

令和8年度 東部地区小学校・義務教育学校（前期課程）理科授業充実研修会

令和8年8月5日（水）

越谷市科学技術体験センター

小学校理科授業の一層の充実を図るため、観察・実験の指導技術の向上と科学的な思考力を育成する授業づくりをテーマとする研修会を実施しました。

全体を2グループに分け、講義や演習、実験・実習等、午前と午後の交替制で研修を実施しました。

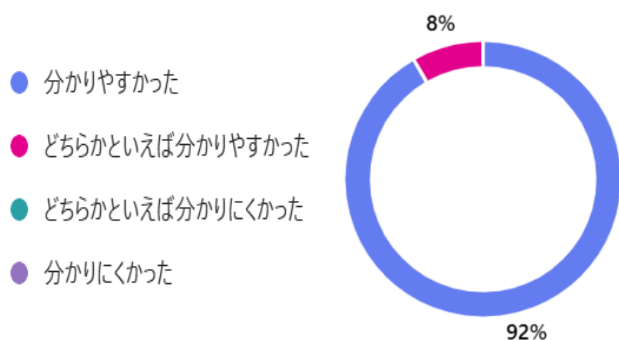
講義・演習では、科学的に探究するためのポイントや児童が理科の見方・考え方を働かせるための事例の紹介、観察・実験における事故の例と事故防止等、授業づくりに大切なポイントについて理解を深めました。実験・実習では、ダンシングスネークや声コプター等、身近な素材を活用した教材の工夫、筋肉の仕組みについて実感を伴った理解につながる筋肉の模型づくり、スモールステップで学ぶ顕微鏡の使い方、電気の利用の学習における導入やものづくりの工夫、様々な研修に取り組みました。

どの参加者も熱心に取り組み「理科の面白さや疑問をもつことの大切さに改めて気付かされた」、「すぐに授業で活用していきたい」などの声が多く聞かれました。

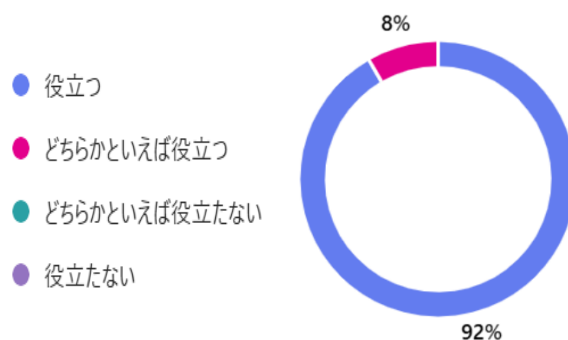
（参加者27名）

【参会者のアンケートから】

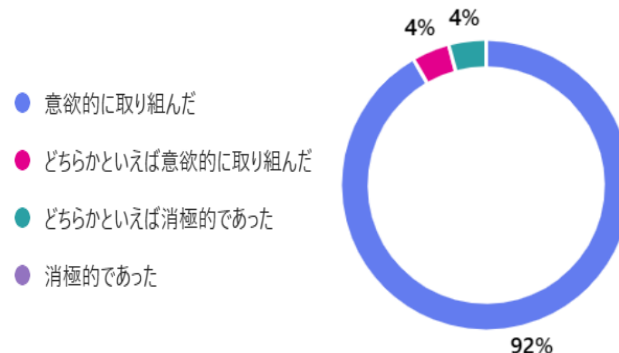
『内容がわかりやすかった』



『授業実践に役立った』



『研修の取組状況』



どの設問に対しても、高い評価を得ることができました。本研修会が、理科教育を学ぶ小学校教員にとって、貴重な学びの場となっていることが伺えます。教員自身が多くの実験等に関わることで、理科の楽しさを知り、児童に還元されることを期待しています。

【研修会の様子】



事故防止について
(観察・実験 安全確認チェック40)



身近な材料を用いた顕微鏡の実習
(煮干し、新聞紙の切り抜き)



身近な材料で「電気つりざお」作り



見方・考え方を働かせる
授業づくりについて(協議)



紙コップでつくる「音」の教材づくり



異学年でも楽しめる
「カルメ焼き」の実験の工夫

【参会者の感想から】

- 児童が身近な事象に目を向け、疑問をもちながら学ぶことの大切さを学ぶことができました。特に、特別な教材を用意しなくても、身の回りにあるものや普段の生活の中で見られる現象を学習に取り入れることで、児童の興味や関心を引き出せることが印象に残りました。今後は、児童が「なぜだろう」「やってみたい」と思えるような、身近なことから学びにつながる授業づくりを意識していきたいです。
- それぞれの学年で身につけたい力を改めて確認することができました。また、それぞれの単元で子どもが興味・関心を引き出すような導入やもっと調べてみたいと自主的に考える工夫を多く教えていただきとても参考になりました。実験結果から考察やまとめへのつながりに不安がありましたが、今日の研修会で悩みが晴れました。
- 簡単な実験をいくつも体験して、大人でもびっくりするような結果になるものがいくつもありました。子どもたちが取り組んだら、印象に残る授業になるのではないかなと思いました。また今までやっていた実験よりも簡単に組み立てる方法も教えていただき、今後の理科授業が楽しみにになりました。
- 私は今年度初めて理科の授業を担当していて、理科の授業に対する困難さを感じていました。今回の研修で、担当学年や他の学年の内容について実験を通して学ぶことができ、2学期からの授業に少し自信がもてるようになりました。教員が楽しむことで子どもも楽しくなることを意識して経験を積んでいきたいと思います。
- 子どもの気持ちになって、わくわくしながら研修に取り組むことができました。教科書に載っていない実験や観察、授業で使ってみたい教材やノウハウを教えていただき、自分だけでなく校内でも広めていきたいと思いました。普段なかなか自分では積極的に学びきれていない学習指導要領の内容も、学び直すことができ、勉強になりました。指導者の先生の実践、普段の授業の進め方、板書例などは同じ理科専科として実践したい内容が盛りだくさんでした。他の学校の先生方と話す機会もなかなかないため、悩みを共有できたり、実践を知ることができたりして、ありがたかったです。
- 研修を受けて、改めて理科は楽しいと感じました。気孔の観察方法や筋肉の仕組みなどの実験を、子どもたちの目線になって体験することで、私自身もわくわくしながら研修に参加することができました。今回学んだことを、ぜひ学校で子どもたちにも実践し、理科の楽しさを伝えていきたいと思います。
- 理科の見方・考え方が各学年で違い、それぞれを積み重ねていくことを学びました。だ液の実験では、容器を使いやすい物に変えることで、より一人一人が実験しやすい環境を作れることを学びました。ダンシングスネークや声コプターなど、児童が興味や関心をもち作れるようなものについて学ぶことができました。安全面については常に気をつけるようにとのことだったので、十分に安全面に気をつけていきます。
- マイクロチップを使ったでんぷんを分解する実験は、今まで中々うまくいかず悩んでいたところだったので、来年度すぐ実践したいと思いました。また、筋肉模型や電磁石つりざおは、2学期の授業ですぐ活用できるもので、子供たちのわくわくした表情が浮かびました。お土産もたくさんいただき、ありがたかったです。